

## 平成30年度 新居浜市政策懇談会議事録

○日 時 平成30年11月19日（月）18:30～19:35

○場 所 消防庁舎4階 消防コミュニティ防災センター

○委員の出欠 出席33名（代理出席1名含）、欠席7名

○会議次第

1. 開会

市長あいさつ

2. 議事

(1) 「学生と市長の懇談会」等からの意見及び具体的な提案内容の審議

(2) 意見交換

(3) その他

3. 閉会

### 1. 開会

事務局： 定刻がまいりましたので、ただ今から「平成30年度 新居浜市政策懇談会」を開催いたします。本懇談会は、審議会等の公開に関する要綱に基づきまして、全部公開となっておりますこと、また、議事録等につきましては後日、新居浜市のホームページにおいて公表されますこと、あらかじめご承知くださいますようお願い申し上げます。

本日は委員の皆様方にはご多忙にもかかわらず、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、本日の委員の欠席及び委員の交代についてご報告いたします。

本日欠席されております委員は、新居浜市食生活改善推進協議会 秦委員（副会長）さん、新居浜市連合自治会 日野委員さん、新居浜地区防犯協会 星加委員さん、新居浜市医師会 山内委員さんにつきましては、所用のためご欠席、新居浜市土地改良協議会 高橋委員さん、新居浜市心身障害者（児）団体連合会 三木委員さんにつきましては、体調不良のためご欠席とのご連絡を受けております。ご了承をお願いいたします。

また、新居浜市消防団 堀田委員さんの代理で山内様にご出席いただいております。

次に、各団体における異動等に伴いまして、14名の委員さんが交代されておりますので、ご報告いたします。

まず、新居浜市農業協同組合 岡部委員さん、新居浜市漁業振興対策協議会 合田委員さん、新居浜市観光協会 近藤委員さん、いしづち森林組合 河野委員さん、新居浜市老人クラブ連合会 鈴木委員さん、新居浜市社会福祉協議会 小野委員さん、新居浜市医師会 山内委員さん、新居浜市心身障害者（児）団体連合会 三木委員さん、新居浜市福祉施設協議会 筒井委員さん、新居浜市PTA連合会 田坂委員さん、新居浜市内県立学校校長会 渡邊委員さん、新居浜市中学校校長会 大久保委員さん、新居浜市小学校校長会 荒井委員さん、新居浜青年会議所 三木委員さんが、それぞれ委員にご就任いただいておりますので、今後ともお力添えをいただきますようお願いいたします。

なお、オブザーバーとしてご参画いただいております、佐藤先生につきましては、本日、ご欠席、また、東渕先生につきましては、少し遅れてのご出席とのご連絡をいただいております。

それでは、これより会議を開会いたしますが、会議進行につきましては、曾我部会長にお願いしたいと思います。

曾我部会長： 開会に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度は、市長公約であります「7つの夢の実現」を推進するために、委員の皆様にご協議いただき、石川市長に本懇談会から提言書を提出することができました。委員の皆様には、この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。本日の会につきましても、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

また、この度、各団体等の改選等に伴い、新たに委員をお引き受けいただきました皆様におかれましては、それぞれの専門的見地から、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からの挨拶といたします。

本日は、よろしく願いいたします。

それでは、お手元の会次第に沿って会議を進めたいと思い

ます。

まず、開会にあたりまして、石川市長からご挨拶をお願いいたします。

市長： 開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、政策懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

昨日は、中学校駅伝大会がございまして、新居浜市の男子は西中学校、女子は中萩中学校がそれぞれ1位となり、12月に滋賀県で行われます全国大会にめでたく出場することが決定いたしております。皆様のご声援のほどよろしくお願いいたします。

本懇談会につきましては、市民の皆様をはじめ、企業、団体、行政がチーム新居浜として一体となって、市政課題等に取り組んでいくことを目的に、平成25年度に設置させていただき、今年度で6年目を迎えることとなりました。

委員の皆様には、これまで、懇談会、ワーキンググループ、分科会などにおきまして、精力的なご活動を賜り、市政課題に対し、様々なご提言をいただきましたこと、改めまして厚くお礼申し上げます。また、各団体等の役員の改選等により、新たに委員をお引き受けいただきました14名の新委員様におかれましては、心より感謝申し上げます。

委員の皆様におかれましては、様々な角度からのご意見、ご提言をいただき、市政運営がより良い方向へ進んでまいりますよう、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

## 2. 議事

曾我部会長： ありがとうございます。

それでは、これより議事に移ります。

先に、書面により通知させていただきましたように、本年度の政策懇談会では、市が別途行った「学生と市長の懇談会」「企業に勤める若者と市長の懇談会」及び「新居浜みらい会議」で出された意見を取りまとめたものについて、審

議を行い、その審議結果を市長に提出したいと考えております。

それでは、事務局より、各種懇談会等から出された意見及び具体的な提案の内容について、説明をお願いします。

原企画部長：(資料により説明)

曾我部会長： ありがとうございます。

ただいま、ご説明いただきました内容、特に各種懇談会などから出された意見に基づく総合戦略に位置付けられた具体的な提案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

迫原副会長： 基本目標1の具体的な提案2「情報系、ソフト系企業の誘致」というのは、本校の学生が提案させていただいたものと思いますが、参加させていただいた学生が電子制御の学生で、彼らがこのまちでインターンシップ、就職といったときに、なかなか企業がないということから発言したのではないかと思います。実はこれはもっと大きな問題があるのではないかと考えています。実は、本校は今年から文部科学省の支援を受け、AIの活用人材の育成を行っています。ものづくりでも、どんどんAIを活用したものにシフトしていっているところですが、AIを活用できる人材というものが非常に不足しています。ここでも、ものづくりでAIを活用したいと思われているところもたくさんあると思いますが、どこにその話をもっていけばいいのかわからないという状況になっているのではないかと思います。情報系の企業といったとき、単に、情報、ソフトウェア企業ではなく、AIの活用について手助けできる企業について、誘致してくるのが重要ではないかと考えます。

市長： ありがとうございます。確かにこの意見は、高専の学生からお話がありました。私も新居浜市はものづくりのまちなので、製造業を中心に取組んでまいりました。ところが、ちょっと違った観点ですが、土地もあまりなくなった、そういった中で優秀な人材を活かすためには、情報系の企業を誘致するの

がいいのではないかという思いがかねがねございました。校長先生がおっしゃったように、企業そのものも AI を活用するうえで、このような企業があれば非常にいいのではないかと考えますので、色々な機会、チャンスをとらえ、こういった企業にあたっていきたいと考えています。

曾我部会長： 東淵先生、何かご意見いただけませんか。

東淵教授： AI を企業がどんどん活用していくという風土を新居浜市内に作っていくことが大事ではないかと考えます。

曾我部会長： ありがとうございます。その他ございませんか。

近藤（嘉）委員： 基本目標 2 の具体的な提案 1 「東京で働く女性を対象とした週末バスツアーの企画」につきまして、私は観光協会、また酒造組合として活動しておりますが、日本酒の販売が低迷していた 15 年ほど前、日本酒の試飲販売に行きますと、おじさんばかりで、とにかくたくさん量を試飲したいという人が多かったのですが、最近では若い女性が増えてきて、こちらが、試飲をたくさん注ごうとすると、「いろいろなものを少しずつ試してみたいので、少しだけ注いでほしい」と言われるようになりました。そのような日本酒女子が増えてきて、おじさんたちも、同じようにいろいろな種類を少しずつ試飲するようにならったり、女性にひかれて、男性客も増えてきています。今年、広島のマツダスタジアムに観光協会として行かせていただき、色々な取組をさせていただきました。新居浜の人口もどんどん減っており、何とか人を呼びたいというのであれば、ここにありますように、東京で働いている人を限定というわけではないと思いますが、若い女性をターゲットとした商品を開発してはどうかと思います。また、商品を開発するにあたっては、あわせて、新居浜に定住したいと思えるような積極的な PR を行っていただきたいと思います。

曾我部会長： ありがとうございます。その他ございませんか。

三木（悠）委員： 基本目標4の具体的な提案2「高校生まちづくり計画についてのワークショップの開催」に関しまして、資料を拝見しまして、高校生がここまで新居浜市のことを考えているんだな、すごいことだな、と感心させられまして、私も青年会議所という団体で今までつながりがなかった様々な業種の方とイベントなどで交流しまして、本当にいろいろ行わせていただきました。高校生も学校の中では活発に意見交換し、友情をはぐくみあっていることと思いますが、高校という枠組みを超えた、新居浜市内の高校生全体がつながりを持てるような場を作っていたきたいと思います。今まで会話もしなかったような同世代の人が、ふるさと新居浜について一緒に語り合うという場は、本当に素晴らしいことと思うので、ぜひご検討いただきたいと思います。

市長： 高校生と懇談させていただき、素晴らしい、我々も気づかなかったような発想で、提案をいただきました。その中で、高校生の方から、高校生まちづくり計画を作るためにワークショップをぜひ開いてほしいという提案がございまして、私もぜひ作ろうという思いでいましたが、今、委員さんの方からご提案がございました高校に枠を作るのではなくて、全体の高校生を対象に、会を開催するというのも面白いと思うので、検討をさせていただきます。

曾我部会長： ありがとうございます。それでは、次に議事2 意見交換に移りたいと思います。

団体等からのご報告、イベントの告知など、委員の方々に周知したい事項、情報共有をしておきたい事項等ございませんか。

渡邊委員： 基本目標2の具体的な提案4太鼓祭りへの高校生のかき夫参加の可能性の検討について、校長会の立場で意見を述べさせていただきます。高校生のかき夫参加につきましては、平成13年頃に、3年間かけてPTA連合会の特別委員会の中で検

討した形で対応させていただいており、高校側としましては、そのような経緯もありますので、検討していただくとしたら、どのような形で検討されていくのか、教えていただきたいと思います。

市長： 懇談会に参加された学生で、3名程度だったと思いますが、高校生もぜひかき夫として参加したいというお話がございました。鉢合わせという問題もございますので、なかなか簡単にはいかないと思いますが、高校生としては、自己責任でもやっていきたいという意見もございました。この会の前に、上部地区太鼓台運営委員会の方々が来年度に向けた要望に来ていただいておりますが、その中でも、かき夫さんが不足しているという話があり、上部地区については、鉢合わせもなく、平和な運行が行われているので、検討してほしいという話もありました。検討のやり方としましては、今後、各運営委員会、自治会の方からそういう声があるのかどうか、こちらから話しかけを行い、そして、PTA等と相談しながら、また、高校の方とも相談しながら、できるところから克服していきたいと思っていますので、高校の方もご協力のほどよろしくお願いします。

曾我部会長： ありがとうございます。

川西、川東の結果と高校生の飲酒禁止事項等を含めて考えていけば、実行可能ではないかなという気がしますが、学校の先生も含めてみんなで話し合っ、やっていく必要があると思います。

他にございませんか。

三木（悠）委員： 青年会議所の活動について紹介させていただきます。12月2日に旧若宮小学校におきまして、若宮防災スクールという、防災に関する事業を開催させていただきます。これは、夏に発生しました西日本豪雨災害で、南予地方に多大な被害があり、同じ愛媛県内に住む我々とし、ましては、我がこととしてしっかりと防災に向き合えないといけないと考え、事業を開催させていただきます。また、西予市の雑巾がけレースが、会場が被害にあい、開催できなかつたということですので、雑巾がけレース

も新居浜市で開催させていただくこととなりました。また、避難所運営ゲーム（HUG）というものがございまして、被災した場合、避難所で何が優先されるかということシミュレーションをして話し合うという、ゲーム形式のもので、実際に被災した際に、役立ててほしいという思いで、やらせていただきます。その他、防災に対する知識や経験を積んでいただけるような内容になっていますので、ぜひ、ご参加ください。

曾我部会長： ありがとうございます。その他ございませんか。

井原委員： 資料を見ておりますと、要望にしましても、食べ物に関することが多い、しかも我々が食べるものと、若い人が食べるものでは違いがあるので、どういった食べ物がいいのかな、と感じました。また、東京で働く女性を対象とした週末バスツアーの企画に関しましては、姉妹都市構想というのはいかがかな、と思います。都会のどこかと姉妹都市を提携して、そこからの交流もいかがなものかと考えました。

市長： 食べ物につきましては、若い人たちが好むスイーツなど、名物を創造するというのは、効果があると思いますので、挑戦していきたいと思います。姉妹都市につきましては、名古屋市の隣の大府市と先般、交流協定を結んだところでございます。大府市は、住友重機械工業さんが、昭和 34 年に大府市に進出した際に、新居浜市の協力企業 6 社が大府市に移り、支店も出しており、新居浜の方もたくさんいることから、交流してはどうかというお話があり、交流協定を締結することができました。ぜひ、大いに交流していきたいと考えているところでございます。また、本当に都会の東京のまちなどと交流することも有意義だと思いますので、チャンスを見つけて、広げていきたいと考えています。

曾我部会長： ありがとうございます。その他ございませんか。

ないようでしたら、ご多忙中にかかわらず、本日の懇談会にご出席いただきました、オブザーバーの先生方からご意見をいただきたいと思っております。東淵先生から、よろしく



お願いします。

東淵教授： 若者、若い企業に勤める方、若い子育て世代、それらの方にご意見を聞かれたということで、大変すばらしいことだと思います。政策懇談会では、地域を支えてこられた、どちらかと言いますと、高齢の方が多いですが、これに更に若い人たちの希望が加えられたということで、より素晴らしい新居浜市につながっていくと感じます。その上で、高校生まちづくり計画の策定は、大変すばらしいことだと思います。10年先、20年先の新居浜市を支える世代ですので、彼らに骨子を示していただけたら、すごくいいと思います。ただ、果たしてこれらの提案が実現されたとして、若者が都市部に就職等に出ていかないかという点では、疑問符が付きます。都市部に出る魅力を上回るレベルにする必要があると思います。そのためには、ここに書かれていることを、それぞれで見るのではなく、更に知恵出しをしていく必要があると思います。あわせて、新居浜市出身で都市部に出ている若者にも意見を聞いてもらいたいと思います。できれば、市外に出ている若者の懇談会を開催してほしいと思います。次に私が感じたのは、学習機会を求めているのではないかと、ということです。学ぶ機会、もっと勉強できる場が求められているのではないかと感じました。新居浜市としてより魅力を向上させていくためには、教育というものをより充実させていくということが、一つの方法ではないかと感じられました。高校生のまちづくり計画に関しましては、できる限り高校生に自由に発想してもらおう場を作してほしいと思います。大人の定まった考え方ではなくて、全く新たなとんでもない発想を出してもらえるような場を提供してほしいと思います。

釜野准教授： 長期計画などにも出させていただいた中で、横のつながり、世代間のつながりを考えていく必要があると思います。4つの基本目標がそれぞれ各世代とどのようにつながっているかということを考えないといけないと思います。担当部署が変わってくると難しいかもしれませんが、全ての世代が何らかの意味でつながっていくということは、生活していく市民にとって重要なポイントとなると思います。例えば、今日出てきた意見で、レジャーや娯楽、余暇を過ごす場、教育に関

するもの、世代間というものがキーワードになるのではないかと思います。そういった中で、eスポーツについて、テレビで取り上げられたり、プロ化、オリンピック種目にしてはどうか、などという話が出てきていますが、それを活用してはどうか、と考えます。松山市では、野球を定着させる目的で、パワプロという野球ゲームの大会が開催されました。10年後、20年後、遊び、ゲームというものは、ただ遊ぶ場というわけではなく、eスポーツという形で子供が遊べるものとして定着させていく、これが、一つ長い目で見たいろいろな世代のかかわりにもつながっていくのではないかと思います。次に高齢者のサロン活動で、広島黒瀬町だったと思いますが、子供たちも参加でき、元教師の方などもいるということで、勉強も教えてもらえるということで、親もサロンに行くのは勧めてくれるそうです。高齢者の技術、モノづくりの力を活かすことができる環境、子供たちがそう言ったものを選べる環境を設定するのも面白いと思います。E-とぴあ香川では、ロボットのプログラミングやスマホの組み立てなどができ、大変人気となっています。格安でいろいろなことを学べる場をつくるのも面白いと思います。まちづくり計画などの見直しについては、大人目線で、地域活動をしている方の意見が中心になる傾向があります。忌憚のない、中高生の意見を取り入れ、それが実現可能かどうかを一緒に考えることが、中高生にとって、非常に大事なことでないかということも踏まえ、色々な世代の意見を吸い上げられる環境が実現可能かなということになれば、自分たちが残したものがあるという自分のまちへの興味につながっていくと思います。

東淵教授： 一点だけ補足ですが、若者が残るかどうかは、魅力的な企業があるかどうか、職場があるかということだと思います。働き方改革なども言われておりますので、働きやすさ、働き甲斐のあるところをクローズアップして情報発信していったらどうかと思います。

曾我部会長： eスポーツから始まり、高齢者のサロンなど、いろいろご意見をいただきまして、ありがとうございました。

本日、皆様からいただきましたご意見は、改めまして取りまとめ、私から市長に審議結果として提出させていただきたいと思えます。なお、審議結果の取りまとめにつきましては、私にご一任いただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

曾我部会長： ご承認いただきましたので、後日改めまして審議結果を市長に提出いたします。市長をはじめ、行政の方々には、本懇談会の意見を十分に考慮し、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりの実現に向けた取り組みをお願いしたいと存じます。

最後に行政を代表して、市長に一言お言葉をいただきたいと思います。

市長： 委員の皆様方におかれましては、長時間にわたりまして熱心にご議論いただきまして誠にありがとうございました。委員の皆様そしてオブザーバーの皆様から頂きましたご意見を踏まえまして、具体的に事業化の実現に向け、今後取り組んでまいりたいと考えております。今後とも引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。ここで、私の方からお知らせとお願いがございます。昨年、市制施行 80 周年記念事業の一環として、オール新居浜ロケで制作しましたふるさと映画「ふたつの昨日と僕の未来」が 11 月 9 日からイオン新居浜 TOHO シネマで上映されております。新居浜の魅力、別子銅山産業遺産や太鼓祭り、更には市内各所の風景等美しく表示されています。どうかぜひ機会がございましたらご覧になっていただきたいと思います。

委員の皆様方におかれましては、大変お疲れ様でございました。今後におきましても、引き続き、より良い市政運営のためにご協力を賜りますよう、改めまして、お願い申し上げ、私のお礼のご挨拶といたします。本日は、本当にありがとうございました。

曾我部会長： ありがとうございました。

委員・オブザーバーの皆様には、会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。それでは、これをもちま

して、進行を事務局にお返しします。

### 3. 閉会

事務局： 曾我部会長、会議進行ありがとうございました。  
以上を持ちまして、政策懇談会を終了いたします。皆様、お気をつけてお帰りください。